

情報

プレゼンテーション



小学校中学年以上

総合

国語

伝える極意 15分

わかりやすいプレゼン ～プレゼンテーション～

(2009年放送)

この番組の良さ



上手にプレゼンを行うには？

世田谷区芦花小学校の5年生は環境問題について学習したことをまとめ、発表することになりました。パソコンでスライドを作り準備を進めますが、徐々に子どもたちは人前で話すのが不安になっていきます。

番組ではプレゼンテーションに焦点を当て、どのようにすればうまく相手に伝わる発表ができるのかを考え、学ぶことができます。

専門家のアドバイスのもとに

メディア教育開発センター教授の中川一史さん（現放送大学教授）は、練習の様子を録画した映像から見直しを行わせ、発表のアドバイスを行います。番組を通して、話し方やスライドの見せ方など、プレゼンのポイントをつかむことができます。

また、発表に向けた練習の仕方や情報伝達の過程についても学ぶこともできます。

番組活用のポイント

プレゼンテーションのコツを学べる

どの学校においても、またどの発達段階においても、調べてまとめて伝えるという、情報発信の過程を取り入れた授業が展開されています。このような過程や、メディアを活用して発信することは、今後ますます重要になるスキルだと言えます。

しかし、子どもたちの発表やプレゼンテーションははたしてうまくいっているでしょうか。過程をなぞることに終始し、原稿の棒読みや、パソコンでスライドを作ることで満足していないでしょうか。

この番組を、発表を行う事前学習や、自分たちの発表をふりかえる際に生かすことをお勧めします。番組の視聴の前後に、普段の自分たちの発表や練習などの準備の様子を想起させ、課題意識を持たせて視聴させてください。

本番組では発表会に向けたプレゼンテーションの練習を通して、パソコンを代表とするメディアの特性を生かした発表の仕方や、相手に伝わるプレゼンテーションをするための極意を学ぶことができます。また、調べ学習の過程や、学習のまとめの視聴としても活用することができます。

目的意識や相手意識を明確にして

番組では、中川流プレゼンの極意として①強調したり間をあけることばを意識して話す ②資料に注目を集める ③文は短く声に出して確かめる ④？と！を使って話す という4つの視点を示しています。話し方や見せ方といったスキルのな面から、原稿の見直しや相手意識を持った話し方にまでふれていきます。プレゼンテーションでは、目的意識や相手意識が、その出来栄にも関わります。スキルはもちろん大切ですが、単に発表することだけでなく、何のために、誰にどんな内容を伝えるのかを改めて考えるきっかけとなるでしょう。

(甲斐 崇)